



ぐんま・脳とこころのアカデミー 2017

昨年よりリニューアルして始めた「ぐんま・脳とこころのアカデミー」では、さまざまな生物学・心理学・社会学に関する領域横断的な問題について、多くの専門分野に関わる方々の相互交流を通して、参加者の臨床スキルの向上を目指していくことを企図しています。第1回の2016年3月には「自己意識をめぐる、脳とこころのクロストーク」と題して、多数の方々にご参加いただき、好評を博しました。

第2回となる今回は、「宗教と精神医学のクロストーク」を総合テーマとして、宗教の立場からみた精神医学、あるいは逆に精神医学の立場からみた宗教について、自由なディスカッションができたと思います。特別講演には北翔大学の宮司 信教授にご登壇いただきます。一般講演では、仏教、イスラム教、キリスト教のそれぞれの立場から、宗教と精神医学との関連、宗教が精神科臨床に果たす役割について発言します。「宗教」とは何か。異なる宗教が共有できることもできないこともすべて含め、率直で活発な討論を展開します。

日時 2017年3月25日(土)13:20~17:00

会場 群馬病院本館3階メインミーティングルーム(群馬県高崎市稲荷台町136)

総合テーマ 宗教と精神医学のクロストーク

プログラム

1. 開会の挨拶 野島照雄(特定医療法人群馬会群馬病院院長)13:20~
2. 一般講演(13:30~15:00) 各発表20分, ディスカッション30分
 - ・川野泰周(臨済宗建長寺派林香寺住職・精神科医)
仏教の立場から:「自己と向き合い続けた人、ブッダが現代に伝えた教えとは」
 - ・ムハンマド・エルサルヒ(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)
イスラム教の立場から:「イスラム世界からみた精神医学」
 - ・宇田川雅彦(船橋市立医療センター精神科)
キリスト教の立場から:「聖書の言葉を精神科臨床の支柱として」
3. 休憩(15分)
4. 特別講演(15:15~16:15)60分
 - ・宮司 信(北翔大学教育文化学部 精神科医)
「宗教と精神医学のつながりを考える」
5. 休憩(15分)
6. 全体討論(16:30~17:00)
7. 懇親会(17:00~18:00)

総司会 豊嶋良一(埼玉医科大学医学部神経精神科)

三村 将(慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

対象 医師, 看護師, 臨床心理士, 作業療法士を含めた多職種の医療関係者, 自然科学系・人文系の教員, 学生, NPO 団体関係者など

参加費 2,000 円

申し込み 群馬病院出版会のホームページ(<http://www.ghp.or.jp>)の「セミナー案内」を開き、申し込みフォームの必要項目にご記入の上、3月11日までにメールでお願い致します。病院内に宿泊をご希望の場合は、併せてお申し込み下さい。(※ただし、宿泊については部屋数に限りがございます。ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。)

問合せ 水野谷(みずのや) ☎ 027-373-2251(代表)